

UNIVERSITY CONSORTIUM TOCHIGI NEWS LETTER



発行 大学コンソーシアムとちぎ事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 (宇都宮大学内)
TEL.028-649-5016 FAX.028-649-5079
URL: <http://www.consortium-tochigi.jp/>

2008.06.30

Vol.3

「コンソーシアムという試み」

産学公連携事業委員会の活動について

平成17(2005)年4月、大学コンソーシアムとちぎが発足した。記念式典において、栃木の大学、短期大学、高等専門学校、学長・校長がしっかりと手をつなぎ、栃木の大学等の高等教育機関の魅力を世界へ発信する決意を示した姿は、栃木の高等教育の新しい時代の到来を示唆してさわやかであった。

大学コンソーシアムとちぎの際立った特徴は、産業界や自治体、地域のNPO等、地域社会の人々との連携・協力を重視し、大学コンソーシアムとちぎの3つの専門委員会の一つとして、産学公連携事業委員会を設け、活発な活動を行ってきたことである。

産学公連携事業委員会は、3つの課題を掲げている。一つは、栃木学の確立である。栃木を学問の対象とし、栃木をよく知り、その成果を全国に伝えていくとともに、栃木の高等教育に還元していくことを課題としている。既に、作新学院大学は、宇都宮市の清原地区の人々とともに清原の歴史、産業、交通、将来の

あり方等についてシンポジウムを重ね、「清原学」を教育に生かす努力を行っている。二つは、技術経営 (management of technology: MOT) に関する研究である。MOTについては、作新学院大学が経済産業省の研究費補助金を受け、栃木県の経済界や産業界の協力のもとにMOTプログラムの作成を行い、大学院経営学研究科の講義の一つの柱を構成している。しかし、他大学のMOTに関する取り組みは弱い。MOTプログラムの作成がスムーズに進んでいくためには、工学系との連携が望ましい。経営系と工学系が協同してこの課題に当たり、地元企業の要請に応じて個別企業へのMOT教育をどのように進めていくか、本委員会の緊急の課題である。三つは、大学が行う企業におけるインターンシップのあり方についてである。栃木の大学等においてはインターンシップへの取り組みが極めて弱い。企業においてどのような教育プログラムが可能か、企業と大学との共同研究が必須

諸 富 隆

作新学院大学学長
作新学院大学女子短期大学部学長



であるが、現在大学は、教育プログラムのほとんどを企業に任せている。企業と大学との共同研究を本委員会が組織し、適切な教育プログラムを作り上げることが、学生の就職やよき社会人としての成長を考える場合にも極めて重要になっている。

これら3つの課題の中で、実際に成果を上げているのは、第一の課題である栃木学についてである。これまで、公開シンポジウム、講演、公開講座など積極的な取り組みを行ってきた。例えば、平成18年1月と2月には「清原学からとちぎ学へ」をテーマに公開シンポジウムを持ち、平成18年3月から4月にかけて「未来への視点…とちぎの力」と題し、とちぎの里山・農業と食・伝統文化を取り上げ、3回連続の公開シンポジウムを行っている。平成19年4月には「文化の伝承と挑戦」をテーマに歌舞伎俳優市川右近と作新学院大学教授小林和夫との対談と、知事もパネラーとなったシンポジウムを行い、県民の好評を博した。

また、この間、栃木県経済同友会(大学コンソーシアムとちぎの会員)との連携が著しく進み、栃木県経済同友会との共催で、産学官協同で大きな成果を上げている岩手大学の訪問と花巻・北上の工業団地内の産学公協同研究施設の視察や、地域別産学公連携懇談会の開催等多くの事業を展開している。

さて、13大学が加盟し、企業からの経営やものづくりに関する相談、企業と学生研究発表会等を行ってきた産業創造プラザ内に事務所を持っていた「サテライトオフィス」が、この4月から大学コンソーシアムとちぎに統合されることになった。これによって産学公連携事業委員会は、地域連携事業委員会と産学官連携サテライトオフィス事業委員会とに分割され、地域連携事業委員会の事務局は作新学院大学内に置かれることになった。サテライトオフィスの行ってきた事業の内、ものづくりに関する相談以外は、地域連携事業委員会が引き継ぐことになった。幸いにも、作新学院大学には、地域連携支援センターが存在する。このセンターの協力によって地域連携事業委員会の活動は、栃木における観光資源の研究・開発も含めて著しく発展することが期待される。



Integrated our consortium with とちぎ大学連携サテライトオフィス

2008年4月1日より「とちぎ大学連携サテライトオフィス」が
大学コンソーシアムとちぎ内の
「産学官連携サテライトオフィス」として活動しています。

大学コンソーシアムとの統合による サテライトオフィスの再出発

産学官連携サテライトオフィス事業委員会 委員長 石井 清

産学官連携活動の推進を目的として、県内13高等教育機関（高専や大学等、以下大学という）の連携組織である「とちぎ大学連携サテライトオフィス」が平成15年4月に発足し、県産業振興センター内に事務所を置いて活動を続けてきました。「企業からのなんでも相談」を旗印に、技術相談、大学のシーズと産業界のニーズのマッチング事業、また、連携による人とのづくりの支援活動を進めてきました。

相談件数は発足から19年度末までに、新規のもので617件に達し、約半数を大学へ繋ぎました。「とちぎキャンパスネット」は年間に4回、タブロイド版8ページで毎回3万部発行し、加盟大学のトピックスや高校生向け紹介、産学連携の成功例などの記事を掲載してきました。年1回開催される「学生&企業研究発表会」も、学生と社会の繋ぎの場として好評を得てきたと思います。

これらの活動を進めるに当たって、県からは事務所として部屋の提供を受けるなどの支援を受け、

宇都宮大学からはコーディネーターと事務員の派遣を受けることができてきました。また、関東経済産業局はじめ県内の産学官連携組織や自治体からも有形無形の力添えを受けてきました。これらのご支援なくしてサテライトオフィスの活動は成り立たず、深く感謝申し上げます。次第です。

サテライトオフィスは平成20年4月から「大学コンソーシアムとちぎ」と統合し、名称を「産学官連携サテライトオフィス」と改め、再スタートしました。大学コンソーシアムは県内の19の大学等が参加し、平成17年度に発足しましたが、加盟大学と活動内容においてサテライトオフィスと重複するところがありました。この度の統合により、それらが整理され、栃木県内の大学連携がひとつの体制として整えられました。サテライトオフィスの主な活動は変わりませんが、より力強く実効力のあるものにし、「大学の知と技術が有効活用され、それが社会貢献と外部資金獲得に繋がること」を支援していきたいと思っています。

サテライトオフィスの役割

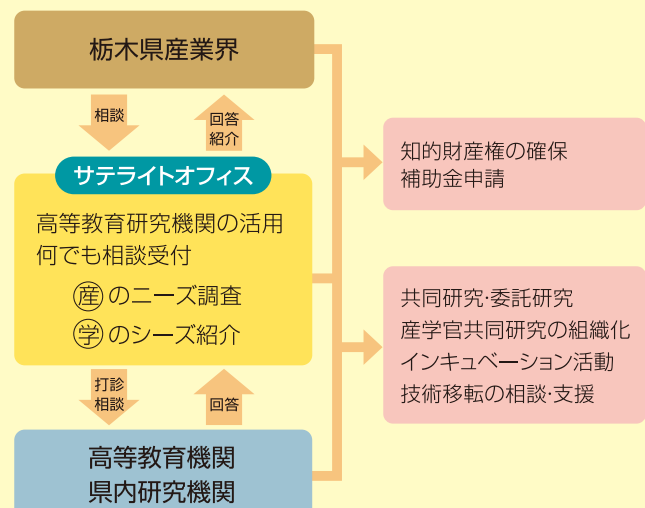
産学官連携コーディネイト

- ◎技術相談、共同研究の促進
- ◎ニーズ調査とシーズのマッチング
- ◎産学官交流の推進
- ◎学生・院生と産業人との交流の支援
- ◎国等の補助金導入の支援
- ◎知的財産確保の支援
- ◎技術移転の支援

異分野融合効果の創出

異分野の知恵を融合し、今までにない
新しい技術、新しい産業の創出

産学官連携コーディネートシステム





大学コンソーシアムとちぎ 平成19年度事業報告

1. 主催・共催事業

- (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会「地域別産学公連携懇談会」(6月13日(水)開催)
「地と知を結ぶ「産学公連携」を求めて～県南地区における産学公連携の現状と展望～」
- 宇都宮共和大学 シティライフ学シンポジウム(7月3日(火)開催)
「賑わいを呼ぶまちづくり～都市の魅力と都市観光～」
- 宇都宮大学「国際キャリア合宿セミナー2007」～国際舞台で活躍をめざす若者たちへ～
(9月22日(土)～24日(月)開催)
- 第16回「とちぎ教育の日」生涯学習フェスティバル(10月26日(金)～11月25日(日)開催)
- 宇都宮共和大学 シティライフ学講演会「子供たちへの責任…大人として、親として」(10月27日(土)開催)
- (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会「講演会及びパネルディスカッション」
～栃木の産業融合化と産学公連携～(11月2日(金)開催)
- 第16回とちぎ教育振興大会(11月11日(日)開催)

2. 協力事業

- 宇都宮大学オープンキャンパス 16構成機関参加(7月21日(土)開催)

3. 後援事業

- 地球環境・女性連絡会とちぎ(GENKIとちぎ) 定例映画会「地球交響曲第六番」(5月27日(土)開催)
- 宇都宮大学 2007年度宇都宮大学キャリアフェスティバル(10月27日(土)開催)

4. その他の事業

- 「大学コンソーシアムとちぎ」のリーフレット「栃木の大学がおもしろい」作成
- 「大学コンソーシアムとちぎ」のポスター作成
- 「大学コンソーシアムとちぎ」のホームページ更新
- 「大学コンソーシアムとちぎ連携講座」シラバス掲載
- (社) 栃木県経済同友会産業政策委員会の「関西KNS視察」(8月24日(金)～26日(日)開催)に参加
- 第4回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(9月15日(土)11:00～9月16日(日)11:30 於:広島修道大学)
- サテライトオフィスとの統合

大学間連携 事業委員会

- 5月23日(水)13:30～ 第1回大学間連携事業推進WG
・単位互換に関する包括協定書(案)について
・平成20年度単位互換実施に向けての検討事項について
・学生活動支援事業について
○連携講座の実施(連携講座募集ガイド作成、連携講座シラバス等の作成及び更新他)
○平成19年度「学生活動支援事業」の実施

産学公連携 事業委員会

- 10月10日(水)17:30～ 第1回産学公連携事業委員会
・サテライトオフィスとの統合について
○地域社会活性化シンポジウム「文化の伝承と挑戦」(4月14日(土))共催(主催:下野新聞社)
○那須烏山市「山あげ祭り」チャレンジショップ参加(7月27日(金)～29日(日))共催(主催:烏山市商工会議所)
○(社) 栃木県経済同友会産業政策委員会の「関西KNS視察」に参加(8月24日(金)～26日(日))
○清原まちづくり講座「清原の魅力を発見しよう」(12月6日(木)～21日(金))全6回共催(主催:清振協)
○地域包括ケアセミナーin宇都宮(12月9日(日)、1月26日(土))全2回共催(主催:さわやか福祉財団)
○飛山城まつり(3月22日(土))共催(主催:清振協)

広 報 事業委員会

- 6月8日(金)13:00～ 第1回広報事業委員会
11月30日(金)13:00～ 第2回広報事業委員会
○ホームページ随時更新(4月～)
○株栄美通信 合同進学説明会(於:宇都宮マロニエプラザ)(6月6日(水))
○平成19年度パンフレットの発行と関係機関への発送(7月中旬)
○平成19年度ポスターの作成(7月中旬)

専門委員会の活動



大学コンソーシアムとちぎの ホームページが 公開されています。



大学コンソーシアムとちぎではホームページを公開しております。大学コンソーシアムについてはもちろん、学生のみなさんには連携講座のシラバスが掲載されており、高校生や社会人の方も受講可能なオリジナル授業科目の申込みこちらから出来ます。

また、加盟する各大学の最新情報や、オープンキャンパス情報もチェックできます。

大学コンソーシアムとちぎ役員（平成20年6月30日現在）

理事長	菅野長右門	宇都宮大学長
副理事長	牛山 泉	足利工業大学長
副理事長	谷 修一	国際医療福祉大学長
副理事長	諸富 隆	作新学院大学長・作新学院大学女子短期大学部学長
理事	板橋 敏雄	社団法人栃木県経済同友会代表幹事
理事	上野 憲示	文星芸術大学長
理事	上野 孝子	宇都宮文星短期大学長
理事	沖永 佳史	帝京大学長
理事	鯨井 佑士	放送大学栃木学習センター所長
理事	久保 紘	関東職業能力開発大学校長
理事	栗原 俊夫	足利短期大学長
理事	佐藤 順一	栃木県総合政策部長
理事	須賀 英之	宇都宮共和大学長・宇都宮短期大学長
理事	高久 史磨	自治医科大学長
理事	寺野 彰	獨協医科大学長
理事	中村 幸弘	國學院大學栃木短期大学長
理事	藤本 光宏	小山工業高等専門学校長
理事	森山 眞弓	白鷗大学長
理事	谷島 一嘉	佐野短期大学長
理事(事務局長)	山本 純雄	宇都宮大学副学長
監事	内野 直忠	前学校法人船田教育会監事
監事	関澤 繁	社団法人栃木県経済同友会専務理事

大学コンソーシアムとちぎ事務局（平成20年6月30日現在）

現在、宇都宮大学産学地域連携課が担当しております。

編集後記

大学コンソーシアムとちぎは、平成17年4月に発足し、4年目を迎えた。本大学コンソーシアムは、広く地域社会や産業界の活性化に貢献し、魅力ある栃木県づくりを目指すことを目的としております。産学官連携をはじめ県民、市民と共生し地域力を掘り起こすシンクタンクの役割を担うことが必要であり、求められていると考えます。昨今のとある調査発表を見ますと、全国的に栃木県の知名度は低いとありました。序々にでも知名度をあげるために、前述の産学官連携による特色ある事業の展開及び地域住民のとちぎ力の向上が必要ではないでしょうか。本大学コンソーシアムとちぎが、その一助となるよう事務局としてサポートしていきたいと思っております。それには、構成機関の担当者等の皆様のご協力、ご鞭撻が必須であります。お忙しいとは思いますがご協力の程よろしくお願いいたします。

本年4月から事務局担当となり、暗中模索であります。本大学コンソーシアムとちぎが、皆様から親しまれ、活躍の場となるよう努力してまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

事務局担当 原 正巳

大学コンソーシアムとちぎ参加校 50音順

足 利 工 業 大 学 足 利 短 期 大 学 宇 都 宮 共 和 大 学 宇 都 宮 短 期 大 学 宇 都 宮 大 学
宇 都 宮 文 星 短 期 大 学 小 山 工 業 高 等 専 門 学 校 関 東 職 業 能 力 開 発 大 学 校 國 學 院 大 學 栃 木 短 期 大 学 国 際 医 療 福 祉 大 学
作 新 学 院 大 学 作 新 学 院 大 学 女 子 短 期 大 学 部 佐 野 短 期 大 学 自 治 医 科 大 学 帝 京 大 学
獨 協 医 科 大 学 白 鷗 大 学 文 星 芸 術 大 学 放 送 大 学 栃 木 学 習 セ ン タ ー